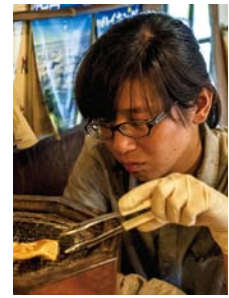


# T-ACT つくばテーブルゲーム交流協会

つくばアクション  
プロジェクト

たかの  
高野 まさ  
大 (人文・文化学群  
比較文化学類 4年)



## つくばをゲームの街に!

「10年後にゲームを通して多様な人々がもっと気軽に会えるまちをつくる。」これが、この団体の最も大切な目標です。テーブルゲームには将棋やバックギャモンのように古典的なものからカタンやドミノのように近年の作品まで、さまざまな時代・地域・ジャンルのものがあります。これらのゲームには、初めて出会った人が対面で交流でき、言語や世代の壁を越えて楽しむことができるという特長があります。つくばにはさまざまな背景を持つ人々が集まっていますが、異なる層の人同士が会える場所は少ないと僕らは感じています。同じ学生であっても会えることのできる範囲は限られており、学生と地域の交流という観点に視野を広げるとその可能性はさらに狭められます。せっかくつくばに来たのに、筑波大学だけを知りつくばを知らずに飛び立つのはもったいない。逆に地域はもっと学生を利用してしまってもいいはず。つくばは研究や産官学連携においてひいでた街であり、市民がそれに触れることのできる機会も十分に提供されているかもしれませんが、けれども僕らは集まってきた人々によるプロダクツだけでなく、彼ら自身にもより注目してよいのではないかと思うのです。そしてそうした活動では地域の人々がより積極的なアクターとなって地域促進に加わることが出来ます。地域が学生を利用する、より敷居の低い活動の在り方がテーブルゲームには可能ではないだろうかと思はれました。

## これまでの活動

多様な人々による交流を実現するためには、様々な層の市民が気軽に加わることのできる場を作らなければなりません。そこで、僕らはなるべく多くの場所を利用してテーブルゲームのイベントを開催す



筑波大学サテライトオフィスでゲームを楽しむ参加者

ることにしました。テーブルゲームになじみのある参加者と、もともとその場所になじみのある参加者との交流が実現され、そこに新たな参加者が加わることによってより多くの人を楽しめる、そのような場づくりを試みました。2016年12月に動き出し、翌1月から6月までの半年間で5つの会場・20のイベントを開催しましたが、初期の活動はそれほどうまくいきませんでした。より多くの人に参加できる時間を想定し早朝にゲーム会を開催しましたが、これにはほとんど人が来ることはありませんでした。朝早起きをして参加するほどにはテーブルゲームの魅力を伝えることができていないと反省をまとめ、開催を取りやめる結果となってしまいました。初期のイベントの中で多くの方に来ていただくことができたのは、Biviつくばの筑波大学サテライトオフィスで開いた「つくばゲームまつり—将棋の古今東西—」でした。2月末に、世界中の将棋系ゲームを古いものから新しいものまで集めようというテーマで開催しました。テーマ性に加えて休日開催であったこと、さらに広報に2ヶ月かけたことが成功の要因だと思っています。

## 今後の活動

T-ACTでの活動は6月で終了しますが、僕らの活動は目標達成に向けてこれからも続いていきます。いくつかの会場では今後もイベント開催について承諾をいただいております、それぞれの場に合ったコンセプトで、今後も活動を継続していきたいと考えています。前述の筑波大学サテライトオフィスでは毎月上旬に、最も間口を広く設定し子どもから大人まで初めての人でも楽しめるゲームをそろえてイベントを開催します。また、コワーキングスペースでは、ゲームを楽しむだけでなく、ゲームを通して可能になるアイデアを語り合うようなトークも交えたイベントの実施を企画中です。4月にイベントを開催した絵本屋さんでは今後も絵をテーマにしたゲームイベントを継続する準備を進めています。毎回初参加の方がおり、また何度も足を運んでくれる方がおり、とても励みになっています。より多くの会場でより多くの人に楽しんでもらうための活動も続けていき、市内の既存の団体とも連携して、テーブルゲームのもつ魅力を発信していきたいと思っています。

Blog : <http://blog.livedoor.jp/shirokoma/>

Facebook : <https://www.facebook.com/TsukubaGame/>

Twitter : <https://twitter.com/TsukubaGame>

問合せ先 : [tablegame.tsukuba@gmail.com](mailto:tablegame.tsukuba@gmail.com)